



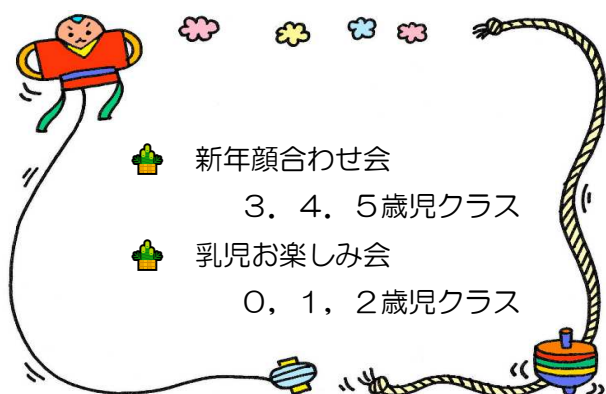
令和7年1月4日
目黒区立駒場保育園園長

🌱 あけまして おめでとうございます 今年もよろしくお願いいたします 🌱

新しい年の始まりは物事の節目となり、気持ちも引き締まります。今年は4日土曜日が初日ということで、例年よりも静かな幕開けとなりました。6日月曜日には、賑やかで元気な子どもたちの声と笑顔が見られることでしょう。今年も元気に笑顔で過ごせる明るい社会であることを心から願うばかりです。

昨年末、4.5歳児クラスの子どもたちが自分たちの部屋の大掃除を行いました。「1年間で溜まった汚れを掃除して、新年の神様を迎えること」という大掃除の由来を聞いた子どもたちは、使っていたおもちゃや部屋の棚、椅子など雑巾を手にきれいに拭いていました。お互いに自分のところが終わると、友達の分も手伝う姿も見られました。誰かに頼まれたわけではなく自分で考え、まわりを見て行動することは人と関わるうえで大切なことです。関わりが希薄になりつつある現代ですが、思いやりややさしさ、感謝は人と関わることで育まれます。園生活でも協力や譲り合い、人の役に立つ行動など人と関わることで喜びを感じられる体験を、たくさんしていきたいと思います。

1.2月は0歳児から4歳児クラスの懇談会を予定しております。保護者の皆様とともに成長を確認し、次年度への保育と子どもたちのより良い発達に繋がる懇談会にしたいと思います。子どもは成長を願い応援してくれる人がいることで、より頑張ろうという心が芽生えます。頑張る姿は他の子どもや大人をも励ましてくれます。そんな励ましの連鎖を広げていきたいと思います。是非ご都合をつけてご参加くださいますようお願いいたします。



懇談会日程

- 👤 4歳クラス懇談会
- 👤 3歳クラス懇談会
- 👤 0歳クラス懇談会
- 👤 1歳クラス懇談会
- 👤 2歳クラス懇談会



2歳児クラス 健康教育 「ぶくぶくうがい」



みんなの口の中はどうなっているのか、看護師からペープサートを使って話をしてもらおうと真剣な表情で聞いていました。「ご飯やお菓子を食べた後、そのままにしているとどうなるかな」と聞かれると「むしばになっちゃう」と声が上がります。以前、歯磨きの話をしてもらった時のことを覚えていたようです。実際にうがいをしてみると、ぶくぶくと口を動かすことが難しい様子が見られましたが、毎食後の積み重ねで少しずつ慣れてきました。うがいをしながら鏡に映る自分の姿を確認している様子が微笑ましいです。今では子どもたちが自ら「ぶくぶくする」と水道へ向かい、食後の習慣になってきています。

お庭で遊ぶの楽しいな！

さくら組（3歳児クラス）

「ミニサーキット遊び」

庭に出ると「サーキットやりたい」と、自分たちでバランスやタイヤ、体育棒、フープ、大縄をサークル状に並べて、ミニサーキットを作り始めます。どこから始めようかと考えながら自分がやりたいところから遊び始めています。初めは並べたタイヤの上を歩いて渡っていたのですが、真ん中の穴から穴へとジャンプで進んでみたり、フープの両足跳びからケンケン跳びへとチャレンジしていました。また、バランスではバランスをとって歩くだけの動きから、立ち止まって片足で10秒落ちないように立ってみたり、自分たちでより難しい動きにバージョンアップさせています。フープとお風呂マットでトンネルを作ってみると、姿勢を低くしながら何度もくぐって遊んだり、中に潜り込んで寝っ転がったり、まるで隠れ家のようなのです。友達の動きや遊び方を見て真似しながら、いろいろな体の動かし方を楽しめるサーキット遊びが大好きです。



すみれ組（4歳児クラス）

「自然を活かしたレストラン」

散歩先で拾ったどんぐりなどの木の实や松ぼっくりを使い、園庭で食べ物を作って遊んでいました。自然物で飾られた素敵な食べ物をテーブルいっぱいにならべて「せっかくだから誰かに食べに来てもらおう」と、レストランごっこが始まりました。「いらっしゃいませ〜ケーキやアイス、カレーがありますよ」と声をかけると、年下の子たちが「くださいな」と集まってきました。落ち葉をお金に見立て「100円です」と値段を言い、気分はすっかりレストランの店員です。たくさん作った食べ物がほとんどなくなり、手元に残った落ち葉を見て「こんなにお金もらっちゃった」と嬉しそうでした。しばらく遊んでいると「新しいメニューもありますよ」「言ってくれたらなんでも作ります」と客役の子たちが魅かれるような言葉や、「少々お待ちください」「出来たら持っていきますね」と思いやりのある言葉も出てきて、楽しいレストランごっこになりました。



ひまわり組（5歳児クラス） 「ドッチボール」

今、1番盛り上がっているのは園庭でのドッチボールです。毎日繰り返し楽しむ中でルールを理解して、たまに参加するすみれ組やさくら組に教えてあげています。ボールを投げるのも、相手にパスをするように下から投げていましたが、保育士が見本を見せると、子どもたちも上から投げるようになり「まっすぐ飛んだ〜」と喜んでいました。友達同士でキャッチボールを楽しむ中でコントロールよく投げられるようになり、投げ方を教えあう姿も見られます。ゲームが始まる前にはグーパーでチーム分けをし、元外野やジャンプボールなどの役割を自分たちで決めています。ボールを手にした仲間の名前を呼んで応援したり、敵にボールが当たると自分のことのように喜んだりしてゲームを進めています。自分がボールを手にした、投げたいという気持ちがありながらも、味方の人数を増やすためにボールをパスしあう姿も出てきて、チームが勝つためにはどうすればいいのかを考えるようになってきました。負けた悔しさ、勝った喜びを仲間と感しながら楽しんでいきます。

